



じょうほく



学校だより
令和7年2月18日 第9号
那覇市立城北小学校
校長 工藤 直也

地域とともにある学校づくり

今年度よりスタートしているコミュニティ・スクールは以前にも触れましたが、学校運営協議会が設置されている学校のことです。地域と学校が力を合わせて学校の運営に取り組むことができる仕組みで、学校・家庭・地域が一体となって、地域の子ども達を育てていこうというものです。また、放課後の子ども居場所などについて協議する城北小放課後子ども総合プラン協議会が設置されています。今年度開催した協議会の様子をお伝えします。

学校運営協議会

<第1回学校運営協議会:6月>

城北小学校の良さや課題、気になることを出し合い共有しました。

<第2回学校運営協議会:12月>

課題については解決のためにはどのようなことができるかアイデアを出し合いました。校内の環境整備など学校ボランティアについては、元PTA役員や会員でも参加しやすい仕組み作り(SNSの活用など)も必要ではないかとの意見も出されました。

放課後子ども総合プラン協議会

城北小学校放課後子ども総合プラン協議会は、放課後の子どもの居場所の充実をはじめとして、地域での子ども達の様子や子ども達を取り巻く環境などについて情報を共有し課題解決を図ることを目的としています。

地域の放課後児童クラブの職員、児童館関係者、放課後子ども教室関係者、民生員などがメンバーです。1月に行われた協議会では、通学路の危険箇所、放課後子ども教室(三線教室)の周知、各児童クラブの周知等が話題に出ました。



学校運営協議会の様子

これらの協議会を通して学校を含めた地域の諸課題の解決方法を探ることで、よりよい地域作りつながっていくことと考えています。

認知症サポーター養成講座 (5年生)

5年生の各クラスで認知症サポーター養成講座を実施しました。那覇市福祉部ちゃーがんじゅー課、那覇市地域包括支援センター大名、繁多川、安謝と連携し、民生委員の皆様にも協力いただき、高齢者の心や体のこと、認知症のことなどについて話を聞き理解を深めました。



民生委員からお話を聞く様子

黒糖づくり体験 (4年生)

4年生各クラスの児童が2月7日～2月14日に黒糖づくり体験を行いました。講師には、久場川自治会長の迫田実さんをお迎えしてサトウキビを搾るところから絞り汁を火にかけて煮詰めて固まらせるところまでを体験しました。「自分たちで作った黒糖はとてもおいしい。」と感想を述べている様子もみられました。



原料のサトウキビ



絞り器で絞る



火にかけアクを取る



攪拌し固まってきたらバットへ



冷めて固まってきた



形を整えて切り分け

新1年生お招き会

2月12日に来年度入学予定の各園児を招いて「お招き会」を行いました。当日は、体育館で1年生が司会進行を行いながら、学校の様子を紹介したり、一緒に踊ったり、遊んだりしながら楽しいひとときを過ごしました。1年間ですっかり成長した1年生がとても輝いていました。また、入学予定の子ども達も、早く小学校に入りたいなど思ったのではないのでしょうか。



メダルを渡して歓迎



1年生から学校紹介クイズ